

生物多様性講座 開催報告

クワガタの標本づくり

7月18日(土)13:00~14:30

★ 参加人数 子ども 21名、大人 15名

2026年度事業

1. お話し：クワガタの生態や多様性

講師 ビオトープネットワーク中部 宇野先生

- ・多様なクワガタムシの紹介。
- ・クヌギやヤナギなどの生息場所。
- ・マダラクワガタなど枯れ木に潜む小さな種の解説。

採集方法のレクチャー

- ・クワガタムシの採り方。
- ・必要な道具の説明。
- ・樹液の作り方やトラップの仕方の解説。



3. 参加者の声

- ・標本作りが楽しかった・上手にできました。
- ・いろいろな種類のクワガタがいることや、虫の名前が分かって楽しかったです。
- ・身近な自然や生物多様性への興味を深めることができました。
- ・クヌギの木にいることや、先生がクワガタの捕まえ方・トラップの仕方をちゃんと教えてくれて嬉しかったです。
- ・クヌギだけでなく、ヤナギや川周辺にもクワガタがいることを初めて知りました。
- ・クワガタの採れる木や見つけ方、樹液の作り方、トラップの仕方まで具体的に学べたので、近日中に子どもと採集に行く計画の参考になりました。
- ・標本作りの手順がよく分かり、意外と手軽に作れることを知ったので、自分たちで採集できたら自宅でも挑戦してみたいです。
- ・以前体験した「蝶」よりも形を整えるのが難しいと感じましたが、出来上がりがとても楽しみです。
- ・採集・生態についての新たな発見がありました。

2. 体験「クワガタの標本づくり」

針の刺し方や固定方法など、クワガタムシの標本づくりを実践

- ・針を刺して形を整える作業が、緊張したけれど一番楽しかった。
- ・難しいところもあったけれど、がんばってかっこいいクワガタの標本が作れて嬉しかった。
- ・意外と簡単に作れた！

【講師の声】標本作りは一見難しそうに苦戦する場面もありましたが、どの子も諦めずに丁寧に取り組み、最終的には全員がかっこいい作品を完成させていました。

